

しもむらいざん

下村為山 生誕百五十周年記念

【松山文化の土壌】

瀬戸内の温暖で穏やかな気候に恵まれた松山は、江戸時代から、儒学や国学、能楽、俳諧、茶道などが盛んでした。

明治維新のころから、特に、学問や教育を重視し、人づくりを重んじる風土が醸成され、豊かな文化をはぐくむ土壌が創られました。

このような背景から、日本近代文学の開拓者の一人、

正岡子規をはじめ、俳人では高浜虚子や河東碧梧桐、

内藤鳴雪、柳原極堂、村上霽月、中村草田男、石田波郷な

ど、作家・評論家では、水野広徳や桜井忠温などの多士済々の

人材を輩出しています。また、文豪・夏目漱石や与謝野晶子、

斎藤茂吉、吉井勇など名だたる文人が松山を訪れ、漱石の小説「坊っちゃん」のような松山にゆかりの深い文学作品も生まれました。



正岡子規

(松山市立子規記念博物館所蔵)



夏目漱石

(松山市立子規記念博物館所蔵)

【松山ゆかりの文人墨客の顕彰】

平成二十九年には、正岡子規、夏目漱石の生誕百五十周年を迎えます。この前後には、正岡子規と活躍をともにした明治の文人墨客の生誕の記念年など様々な節目を迎えます。

これを契機に、改めて偉大な先人の足跡を知ること、多くの方々が、俳句や文学などの「ことば」文化が育つ松山に、愛着と誇りを感じていただけますと幸いです。

【下村為山 生誕百五十周年記念】

平成二十七年は、正岡子規ゆかりの画家・俳人、下村為山の生誕百五十周年です。このパネルで展示では、為山の生涯と業績を紹介します。

皆様には、為山の作品やその生涯を辿り、先人の業績に思いを馳せていただきたいと思います。